



2018

11

Vol. 47

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日:2018 年 11 月 1 日 第 47 号

本部事務局 住所:〒120-0023

東京都足立区千住曙町 4-16

TEL:03-5813-9251

住みなれたまちで



建物外観



名称にもなったテラス部分



馬渡さん家

TPG ケアテラスよまきがオープンしました

2018 年 9 月 1 日、埼玉県三郷市鷹野 5 丁目に新しい複合施設「TPG ケアテラスよまき」がオープンしました。1 階には鷹野 4 丁目にあった小規模多機能サービス「馬渡さん家」が移転し、2 階には戸ヶ崎 3 丁目にあった訪問介護事業所「ファミリーケア戸ヶ崎」が名称を「ファミリーケアたかの」に変更して移転しました。さらに、2 階にグループ法人 医療法人財団健和会の「みさと南訪問看護ステーション」と、11 月には居宅介護支援事業所も入居予定です。

「TPG」は建物の大家さんである「東都ファーマシー（薬局）グループ」の略です。「よまき」は「寄巻」という地名にちなんでいます。建物の特徴は何と言っても、吹き抜けの「囲い庭」と木の温もりを大切にしたり作りです。その「囲い庭」を使って、8 月 4 日には祝賀パーティー・内覧会が行われました。オープニングの和太鼓倶楽部「源流」の迫力ある演奏が大変印象的でした。猛暑の中、地域の方々も含めて 104 名が参加して下さり大盛況でした。

これまで各事業所ともに単独で運営してきましたが、複合施設には 4 つの事業所が結集します。今まで以上に顔の見える関係が構築できます。ご利用者の情報共有がより迅速かつ正確に進み、より良いケアを提供していくことが期待されます。歩いてすぐの「たかの医療福祉会館」には 8 月 1 日に「みさとホームケア診療所」がオープンし、鷹野 5 丁目は三郷南部地域の医療・介護の新拠点になります。地域の皆様のご期待に応えられるように職員一同力を合わせて頑張っています。

早速、「TPG ケアテラスよまき」の各所長が集まる合同会議がスタートしました。

「みんなで BBQ やろうよ！」と所長同士の団結力は、もう「ハンパない」です！

埼玉エリアマネジャー 落合 直人



木の温もりあふれる室内



祝賀会での「和太鼓倶楽部源流」



祝賀会の様子

地域

連載
共生に向けた
取り組み報告
～地域貢献活動～

【港南小学校で介護体験を行いました】

現在すこやか福祉会では、未来を担う子どもたちに介護の魅力を伝えることに力を注いでいます。昨年、中学校での介護体験授業から始まり、今年は5月にやすらぎ祭りで介護体験コーナーを設けました。これに続き、8月20日、港区「すこやかの家みたて」の近隣にある、港南小学校の夏休みイベントに参加させて頂きました。

「港南クラブ」と題した学校主催のイベントでは、地域のボランティア団体や企業団体と協力し、100種類近くの体験教室を実施します。その中の1つとして「介護体験教室」を行いました。高齢者疑似体験・視覚障害者体験・車椅子体験の三つを用意し、それぞれ体験者側と介助者側を交互に体験してもらいました。企画の段階では低学年、高学年ともに15名程度の参加を予測していましたが、希望者を募ったところ、高学年30名、低学年92名という驚きの希望者数でした。急いで職員を増員し、プログラムを見直しました。



低学年の高齢者疑似体験

当日、午前中は77名の低学年が参加しました。車椅子に乗った女の子から「いつもと景色が違う！」と新しい発見の言葉が聞かれる場面もありました。

午後は高学年22名の参加でした。さすが高学年というくらい、しっかり話しに耳を傾けてくれて、積極的な質問もあり、意欲的に取り組む姿が見られました。子供たちの笑顔にたくさん触れることができ、とても充実した時間を過ごせました。

参加した職員も介護現場ではプロですが、子どもたちに教えるという点では初めてという職員がほとんどだったので、大変なこともあり、次に繋がる課題も見えてきました。今後もこのような、未来に介護をつなげる取り組みを広げて行きたいと思います。

湾岸エリアマネジャー 中野 一仁



低学年の視覚障害者体験



高学年の車椅子体験



低学年 77 名、最後まで頑張りました

墨田区の地域イベント <江戸に浸かる。> 青果リレーに参加しました

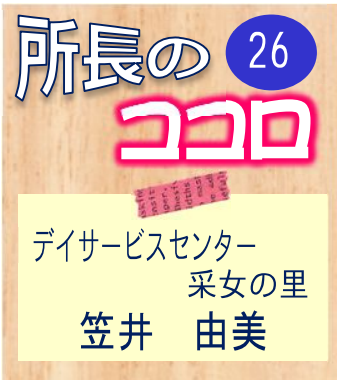
9月29日(土)、墨田区の地域イベント「江戸に浸かる」の演目「青果リレー」に参加させて頂きました。この近くは昔、「寺島なす」の栽培が有名な地域だったそうで、最近この「寺島なす」を復活させて地域おこしが行われています。そこで、聖火の代わりに青果(寺島なす)もって走る「青果リレー」が考えだされたそうです。

当日はあいにくの雨でしたが、「すこやかの家かねがふち」前には多くのご利用者が応援に集まってくれました。今年度は児童館や町会、介護事業所など18もの団体が参加した「青果リレー」。昨年度より地域のつながりが広がっています。「今年は地域を盛り上げる一員に」を合言葉に、デイかねがふちの江川所長とともに参加させて頂きました。

ケアハウスかねがふち 小山田 征礼



↓青果<なす>を持って走っています！



【采女の里に出会うまで・・・】

采女の里に入ってもうすぐ6年になります。

これまで介護の仕事しかしておりませんが、特養2カ所、ケアマネジャー、訪問介護、グループホームと様々な会社・業種で経験させていただきました。結婚、主人の祖父と同居しながらの介護、三郷に移り住んで出産を経て親の介護。1、2年の間が目まぐるしかったですが、娘が2歳半を過ぎ、特養に入居していた祖父が他界した後、仕事に復帰しました。

娘はまだ小さかったので『日中しか働けないかなあ』と考え『デイサービスかあ』と不安でした。性に合わないだろうと思い込んでいました。当時の采女の里は、ほとんど職員の入れ替えがなく、職員同士の団結力を感じる中に入っていくのは大変でした。年齢も年齢なので「もう転職は考えまい」と思って必死だったことを懐かしく思い出します。娘も今では小学校3年生。子育てはほぼ、娘が生まれた直後に大病をした母に、リハビリだと言ってお願いしてばかりですが。

【偉大な上司に恵まれました】

采女の里の職員はみな明るく、元気がよくて一芸に秀でて、『こうしよう』『やってみよう』と向上心に満ちた方々です。利用者さんもお元気で、日々ほとんどを笑って過ごし、『こんなに笑ってばかりで仕事なんだから、ありがたいですよねぇ』と利用者さんに言いながら仕事をしています。

私の仕事のモットーは『黒子』。周りの職員の動きを見ながら足りないところを補う感じでしょうか。前面に出て行くのは苦手なので、陰ながら支えることを大事にしてきたように思います。その反面、何でも背負い込むので仕事がアップアップしてしまう。

そこで出会ったのが当時の所長『吉井暁さん』です。子育ての先輩で理解もあり、育児をしながら仕事に対する向き合い方などを教えて下さいました。私にいろいろな仕事を教えてくれ、任せてくれました。

私はこの人を支えたいと思いました。物申すこともあったり、注意を受けたこともたくさんたくさんありましたが、このまま仕事が続けられたら…と思っていましたが、異動が決まり、後任の話をいただきました。

『偉大な所長の後には本当にやりたくない！職員も利用者さんも納得いかないだろう、自分が一番納得がいけない』と泣きながら訴えたこともありましたが（笑）

【所長になって思うこと】

7月に所長となって2ヶ月半、職員さん、利用者さんに助けられながら何とかやっています。今でも所長という役が合っているとは思っていません。吉井所長と言う、偉大な所長と同じようにやろうなんて減相もない！

ただ、利用者さんがいつまでも元気に采女の里に来られるよう、身体機能の維持を支援し、職員の「やりたい、やってみよう！」を大切にして、利用者さん・職員と対話をしながら長く働ける場所を作り続けたいと思っています。



【茄子と茗荷の柚子ドレッシング和え】

夏から秋にかけては、茄子の旬になります。「秋茄子は嫁に食わずな。」と言われるほど美味しい食材です。今年は例年になく野菜が高騰していますが、特価の際には、是非美味しい茄子を食べてください。

ファミリーケアすみだ

＜材料＞

・茄子 ・青柚子 ・あればシラス ・胡麻

＜作り方＞

- ① 茄子に切り込みを入れ、素あげします。
フライパンに薄く油を入れて焼いても大丈夫です。
- ② 酢・砂糖・出汁（めんつゆを使えばとっても簡単!!）を等分程度に入れ、柚子を絞りドレッシングをつくります。
- ③ 味の確認をし微調整したドレッシングの中に茄子を投入します。
- ④ 茗荷の刻んだものと、あればシラスをのせ胡麻をふります。



10月のお楽しみといえばハロウィンです。学童生活を通して、仲間と様々なアイデアを出し合いのものづくりを楽しむ、季節の行事に関心を持つ、由来を知り異文化に触れることを目的として、行っている行事です。

当日は、各グループで作ったダンボールハウスを集め学童内は1つの“タウン”に変わります。子どもたちに“魔女からのお知らせ”と題してとしてハロウィンをやることを伝えと、“今年もダンボールハウスをつくりたい”とワクワクしている子、“魔女は誰なの？”と少し驚いた表情をみせる子など、反応は様々です。

【材料を集めてダンボールハウスを作ります】

今、子どもたちはダンボールハウスを作るため友だち同士でグループを作り、必要な材料をもらうため“魔女”宛に手紙を書いて、ポストに投函。材料が届くのを楽しみにしています。その間、グループ毎にどんな形のハウスにするのか、ユーモアなアイデアが聞こえてきます。日々の遊びからみても、子どもたちの発想や創造はとても豊かです。

今年は、どんなハロウィンになるのか、とても楽しみにしています。

ひよどり学童保育クラブ 富樫 真奈

クイズ

今年もあと3ヶ月となった10月1日、京都大学の本庶佑氏が日本人では2年ぶり、

26人目のノーベル賞受賞に決まりました。地震や台風などの災難が続いていましたが、明るい話題で嬉しいですね。

さて、戦後まもない時期に日本で初めてノーベル賞を受賞したのは次のうちどなたでしょうか、当時最先端の物理学者でありながら、反核運動にも積極的に関わっていた方です。

①湯川 秀樹 ②西城 秀樹 ③海部 俊樹

【クイズ応募のきまり】

◆ハガキまたはFAXで

〈氏名・住所・広報誌の感想を明記〉

◆商品：抽選でクオ・カードを贈呈

◆締切：2018年12月10（必着）

◆答え・当選者発表：次号紙面に



〒120-0023 東京都足立区千住曙町 4-16

「すこやか福祉会 事務局 クイズ係」

FAX 03-5813-9252

読者の声

いつも感想を寄せてくださりありがとうございます。一部ですがご紹介します。

- いつも楽しく読んでいます。クイズもその時々ニュースが問題になってとても楽しみです。すこやか祭りに行けないのが残念です。2018年度事業活動計画抜粋の課題に関心をもちました。
- 新人紹介をみて、新しい社会に向けてみなさんの頑張っている姿が目に見えます。だいぶ仕事には慣れましたか？私も頑張っています。
- 今年も11名の新入職員が入ってきました。顔と名前を覚えて、会ったときにはやさしい一言をかけようと思います。